

いこいこ健康ニュース

第13号

平成 21 年 1 月
発行：依田窪老人保健施設
広報編集委員会
〒386-0603
小県郡長和町古町 3365-5
TEL：0268-68-0281
FAX：0268-68-0283

新年のごあいさつ



施設長
石橋 久夫

新年明けましておめでとうございます。
地域の皆様方に、心からお慶び申し上げます。



完成した新棟

地域の念願「新棟完成！」

念願でありました、新棟が昨年末に完成し、竣工式は1月23日に挙行いたしました。これによりまして、通所リハビリテーションは、1日40人定員と規模も拡大し、スペースも十分確保できました。従来は、介護認定で要支援1、2に該当する方の介護予防リハビリが十分に提供できませんでした。今回はレッドコード（※注1参照）と呼ばれる最新のリハビリ機器も導入いたしましたので、要支援者の皆さんにも、寝たきりにならないよう積極的に新施設を活用していただきたいと思います。

また、入所のベッド数は50床でしたが、70床へと規模を拡大しましたので、より多くの皆さんに利用していただけるようになります。

今年のテーマ 「笑顔と優しさ そして感謝のこころ」

さて、アメリカ市場主義を中心とするグローバリズムが世界的な破綻を引き起

こしているのは皆さん周知の通りです。日本の社会においても、未曾有の景気後退とそれに伴う派遣労働者の大量失業が暗い影を落としています。文明の進歩や、声高に叫ばれた改革路線が、一般庶民からみれば、将来への夢や希望でなく、超格差社会を生み出す原動力であったにすぎないことがわかってきたのです。そういった社会のあり方は、一方で人々が共に助けあつて生きようとする大切な絆を闇の中に葬り去ってしまっています。

このような、厳しい地域の高齢化社会を誰がどう支えていくのか。キーワードは「地域」の「ぬくもり」です。多くの地域住民が、貧しさの中にあつても、心豊かな生を実現することができるよう、行政を中心として、医療・福祉などの公的立場がしっかりと踏ん張って地域を支え、共生社会をめざさなければならぬと思います。

昨今の文明の価値観は、「老病死」を先の見えない苦しみの世界へと追い込んでいくように見えます。死の拒絶を中心とする延命医療や延命福祉が全てではなく、人間が「老病死」を宿命と受け止め、老いを心豊かに生き、尊厳をもって人生を完結していくような地域の価値観を醸成していくことが大切なのです。

そのような視点に立つて、老健「いこい」の今年のテーマは、「笑顔と優しさそして感謝のこころ」としました。戦後60年、文明の進歩の流れの中で、日本人が失ったものは、この「感謝のこころ」です。日本の伝統文化である「八百万の神」という思想は、生かされていることへの万物に対する感謝の気持ちなのです。食事の前と後には、施設を利用して



おたや祭 山車
桜町第5場「天地人 御館の乱出陣の場」

いるお年寄りにも、必ず「いただきます。」「ごちそうさま。」と手を合わせて感謝のこころを表現していただくようにしていきたいと思えます。そして、このテーマを老健「いこい」の伝統文化として育て、そのような心のあり方の中から、地域の光明を求めていければと考えています。

※注1 レッドコード
近年北欧ノルウェーで開発されて、日本でも広まってきた新しいトレーニングの機器
それぞれの機能や目的に合わせて、幾種類もの多様なパターンでの運動が可能であるため、子供から高齢者まで、筋力強化やリハビリ等に幅広く使用されている。



いこい増設工事 竣工



昨年5月より工事を進めてまいりました、老健「いこい」の増設工事が昨年末に完成し、竣工祝賀式が1月23日に開かれました。

式典には、依田窪医療福祉事務組合の羽田組合長、母袋副組合長を初めとする理事者や議会議員、設計監理、工事施工業者等関係者約50人にご臨席いただき、テープカットや記念式典が盛大に執り行われました。

増設施設は、鉄骨造り2階建てで、3階(旧棟を基準とした位置：下の配置図参照)が主に短期入所の入所スペースとして20床増床(全体で70床)し、2階は通所リハビリテーションスペースとして、1日40人の方がご利用いただける施設となりました。2階は、1月26日から利用を始め、3階は2月2日から入所の受け入れを行います。皆様のご利用をお待ちしております。



3階 食道・談話室

3階からはいこいの丘公園や近隣集落、さらに続く山野が眺望できます。



4人部屋 全居室に低床ベッドを配置しました。



1人部屋

1人部屋には、トイレを設置しました。



2F 特殊浴槽

この他に一般浴槽もあります。そちらは長門温泉やすらぎの湯の源泉から、温泉を分けていただいております。



トイレ

トイレはゆったりとした空間を確保しました。



2F 通所リハビリテーションホール

要介護の方のリハビリに加え、介護予防のリハビリも提供できるよう広いスペースを確保しました。

3F	入所スペース (20床)	・4床室(2室) ・2床室(2室) ・個室(8室)	667.85㎡
2F	入所スペース (50床)	・4床室(6室) ・2床室(8室) ・個室(10室)	1,892.24㎡
1F	会議室など		661.59㎡
既存施設面積			2,553.83㎡
増設施設面積			1,275.94㎡
施設面積			3,829.77㎡

★ 編集後記 ★
新年明けましておめでとうございます。増設工事も、多くの方々よりご高配を賜り無事終了しました。竣工式の際、羽田組合長の式辞の中に「利用者中心」ということばがありました。それを胸に刻み、多くの皆様にご利用いただけるようがんばります。本年もよろしくお願いたします。
(編集委員)